

あさひ 共に支えられ生きていく



いきいき宣言

あなたの気づきが、誰かの助けに

旭区 ご近助ほっこり活動

「ちょっと気になる」「ちょっと心配」…。日常生活における小さな気づきから「お互いさま」の気持ちで声をかけあったり、気にかけてたりする、ゆるやかで無理のない見守り合いをしていきましょう――。

「ご近助 ほっこり活動」には、そんな想いが込められています。

今回は、「ご近助 ほっこり活動」につながる取り組みを続けている団体の方々のほか、となり近所同士の気づきのポイントを紹介。ゆるやかな見守り合いについて考えてみませんか？



買い物が住民交流の場

「当初は買い物支援が目的でしたが、今は多世代の住民交流にもつながっています」と会員。週1回の移動販売を楽しみに外出するという高齢者も多いそう。買い物ついでの世間話も大切で、「あの人は最近見かけないけれど、元気かしら…」などと住民間の見守りにつながっています。「地域の皆さんが定期的に顔を合わせることで、何より大事」と会員は話しています。

【移動販売】ガーデンテラス白根台

地域主導で2022年に開始。毎週火曜日にスーパーの移動販売車を招いています。近くにスーパーが無い地域において、貴重な買い物の機会になっています。



子どもたちと顔なじみに

会員のなかには10年以上パトロール活動を続けている方もいます。「大きな学校ではないから、子どもたち同士も学年関係なく仲よし」と会員。子どもたちと定期的に顔を合わせていることもあって、すっかり“顔なじみ”になっており、「自分の担当エリアの子どもたちの顔は覚えましてね」と笑顔で話します。児童の人数も把握しているため、人数が足りない「今日はお休みがいるのかな」と気にかけて見守りをされています。

【交通安全】上川井小学校見守りパトロール

自治会町内会の方々が活動。登下校中の子どもたちが急な坂道や、交通量の多い道路を安全に歩けるように、通学路の各所に立っています。



お弁当が紡ぐコミュニティ

30年ほど続く取り組み。もともとは昼食会で、コロナ禍以降に配食に移行しました。大切なのは、利用者と直接顔を合わせて、お弁当を手渡すこと。「お元気ですか」「最近、ちょっと痩せちゃったのよ」。そんな会話が飛び交います。お弁当を取りに来れない利用者には、民生委員が直接お届け。「ご自宅に足を運ぶと、生活の様子も良く分かります」と手ごたえを話しています。

【お弁当の配食】つぶらの会

民生委員・児童委員や地域ボランティアの方が毎月1回、四季美台町内会館で手作りのお弁当を高齢の利用者にお届けしています。

ご近所同士のゆるやかな、気にかけて合い

～こんなサインや気づき、ありませんか？～

- 雨戸やカーテンがずっと閉まったまま
- 洗濯物が干しっぱなしになっている
- 新聞や郵便物が溜まっている
- 犬の散歩友達を最近、見かけていない
- ゴミ出しの時に会わなくなった
- 引っ越してきた人がこの街に慣れてきているか気になる



気になることがありましたら、お近くの地域ケアプラザ、旭区社会福祉協議会、自治会町内会の役員、民生委員・児童委員などにご相談ください。

地域の見守り活動を広めている「地区社協」をご存知ですか？



「地区社会福祉協議会」(略称/地区社協)は、「自分たちのまちを自ら良くしていこう」という理念から組織されている団体。おおむね地区連合自治会町内会が基本の活動範囲となっており、旭区内には19の地区社協があります。地域ボランティアの拡大、子どもや高齢者、障がい者などに対する支援、各種講座や研修などを行い、「見守り支え合う地域」づくりにおいても大きな役割を果たしています。

<地区社協の主な構成>



善意銀行

善意銀行にご協力いただいた方々

ありがとうございました

<順不同・敬称略>
令和6年7月～9月

金品寄付

株式会社 清光社、大保 ナツ子、伊志嶺 朝之、匿名 1件

物品寄付

神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部、旭ジャズまつり実行委員会、西山 勉、八ッ橋 政彦、匿名 1件

善意銀行とは、皆様からの善意の寄付金をお預かりし、旭区内の福祉施設や当事者団体、地域福祉活動団体などへ配分し、皆様の善意を広げていく事業のことです。

発行/社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会

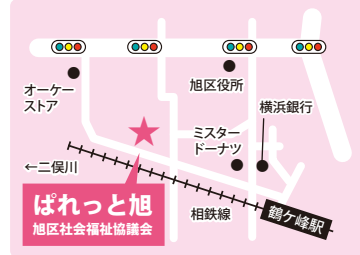
●この広報紙は、「赤い羽根」共同募金の配分金で発行しています



ホームページ



X(旧ツイッター)



〒241-0022
横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35
TEL:045-392-1123
FAX:045-392-0222

<https://www.palletasahi.jp/> 旭区社協